

[小面積向き]

Newシルキーパレット  
オンブルバーグ仕上げ  
施工の手引き

平成20年8月作成

アイカ工業株式会社  
化成品カンパニー 技術部  
建設樹脂グループ

## 目次

### Newシルキーパレット20シリーズ

使用材料 . . . . 3ページ

施工方法 . . . . 4ページ

### Newシルキーパレット25シリーズ

使用材料 . . . . 5ページ

施工方法 . . . . 6ページ

### Newシルキーパレット55シリーズ

使用材料 . . . . 7ページ

施工方法 . . . . 8ページ

### 共通)

適用下地 . . . . 9ページ

主な施工道具 . . . . 9ページ

施工のポイント . . . . 9 ~ 12ページ

施工の注意事項 . . . . 13ページ

不燃仕様の対象パターンについて . . . . 13ページ

## Newシルキーパレット20シリーズ

### < 使用材料 >

材 料	商 品 名	概 要	荷 姿	標準施工面積
主 材	Newシルキーパレット JQ - 20シリーズ <b>標準色</b> JQ - 20T ( ...1000 ~ 2999 ) <b>特注色</b> JQ - 20T ( ...3000 ~ 6999 ) 又は JQ - 20 ( ...英字 , ...数字 )	アクリル共重合樹脂 水性仕上塗材	20kg <sup>缶</sup> - 缶	A色 : 主材 約8m <sup>2</sup> / 缶 B色 : トップコート 約4.8m <sup>2</sup> / 缶

## Newシルキーパレット20シリーズ

### <オンブルバーグ仕上げ施工方法>

#### 1. 主材 下塗り (A色)

配 合	JQ - 20シリーズ	20kg
	清 水	0 ~ 0.5%
塗 布 量	0.9kg/m <sup>2</sup>	
施工方法	ステンレスゴテにて平滑に塗布する。	

夏期 4時間以上  
 冬期 12時間以上  
 乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

#### 2. 主材 配り塗り

配 合	JQ - 20シリーズ A色	20kg
塗 布 量	約1.5kg/m <sup>2</sup>	
施工方法	ステンレスゴテにて、材料を均一に配る。	

#### 追いかけ (5分以内)

#### 3. パターン付け

・ステンレスゴテで楕円を描くようコテ動かし、JQ - 20の表面を引きずるようにして模様をつける。 (図 - 1)		
--	--	--

冬期 12時間以上  
 乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

#### 4. トップコート配り塗り

配 合	JQ - 20シリーズ B色	20kg
	清 水	4 ~ 6%
塗 布 量	約0.5kg/m <sup>2</sup>	
施工道具	中毛ローラー・金コテ・ウエス 塗継ぎを作らず、薄く塗布する。	

#### 5. トップコート パターン付け

・ローラーにて薄く塗布した後、ステンレスゴテにて塗膜表面をしごき、余分な塗材を除去する。 ・ステンレスゴテのしごき跡がある場合は、水を含ませ固く絞ったウエスにて、しごき跡を擦る要領で消す。 (図 - 2)		
--	--	--

## Newシルキーパレット25シリーズ

### <使用材料>

材 料	商 品 名	概 要	荷 姿	標準施工面積
主 材	Newシルキーパレット JQ - 25シリーズ <b>標準色</b> JQ - 25 T ( ...1000 ~ 2999 ) <b>特注色</b> JQ - 25 T ( ...3000 ~ 6999 ) 又は JQ - 25 ( ...英字 , ...数字 )	アクリル共重合樹脂 水性仕上塗材	20kg <sup>±</sup> / 缶	A色 : 主材 約 8 m <sup>2</sup> / 缶 B色 : トップコート 約 4.8 m <sup>2</sup> / 缶

## Newシルキーパレット25シリーズ

### < オンブルバーグ仕上げ施工方法 >

#### 1. 主材 下塗り (A色)

配 合	JQ - 25シリーズ	20kg
	清 水	0 ~ 0.5%
塗 布 量	0.9kg / m <sup>2</sup>	
施工方法	ステンレスゴテにて平滑に塗布する。	

夏期 4時間以上  
 冬期 12時間以上  
 乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

#### 2. 主材 配り塗り

配 合	JQ - 25シリーズ A色	20kg
塗 布 量	約1.5kg / m <sup>2</sup>	
施工方法	ステンレスゴテにて、材料を均一に配る。	

#### 追いかけ (5分以内)

#### 3. パターン付け

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ステンレスゴテで楕円を描くようコテ動かし、JQ - 25の表面を引きずるようにして模様をつける。</li> </ul> (図 - 1)		
---	--	--

冬期 12時間以上  
 乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

#### 4. トップコート配り塗り

配 合	JQ - 25シリーズ B色	20kg
	清 水	4 ~ 6%
塗 布 量	約0.5kg / m <sup>2</sup>	
施工道具	中毛ローラー・金コテ・ウエス 塗継ぎを作らず、薄く塗布する。	

#### 5. トップコート パターン付け

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ローラーにて薄く塗布した後、ステンレスゴテにて塗膜表面をしごき、余分な塗材を除去する。</li> <li>・ステンレスゴテのしごき跡がある場合は、水を含ませ固く絞ったウエスにて、しごき跡を擦る要領で消す。</li> </ul> (図 - 2)		
---	--	--

## Newシルキーパレット55シリーズ

### < 使用材料 >

材 料	商 品 名	概 要	荷 姿	標準施工面積
主 材	Newシルキーパレット JQ - 55シリーズ <b>標準色</b> JQ - 55T ( ...1000 ~ 2999 ) <b>特注色</b> JQ - 55T ( ...3000 ~ 6999 ) 又は JQ - 55 ( ...英字 , ...数字 )	アクリル共重合樹脂 水性仕上塗材	20kg <sup>ℓ</sup> -缶	A色 : 主材 約8m <sup>2</sup> /缶 B色 : トップコート 約4.8m <sup>2</sup> /缶

## Newシルキーパレット55シリーズ

### < オンブルバーグ仕上げ施工方法 >

#### 1. 主材 下塗り (A色)

配 合	JQ - 55シリーズ	20kg
塗布量	0.9kg/m <sup>2</sup>	
施工方法	金ゴテにて平滑に塗布する。	

夏期 4時間以上  
 冬期 12時間以上  
 乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

#### 2. 主材 配り塗り

配 合	JQ - 55シリーズ A色	20kg
塗布量	約1.5kg/m <sup>2</sup>	
施工方法	ステンレスゴテにて、材料を均一に配る。	

#### 追いかけ (5分以内)

#### 3. パターン付け

・ステンレスゴテで楕円を描くようゴテ動かし、JQ - 55の表面を引きずるようにして模様をつける。  
 (図 - 1)

冬期 12時間以上  
 乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

#### 4. トップコート配り塗り

配 合	JQ - 55シリーズ B色	20kg
	清 水	4~6%
塗布量	約0.5kg/m <sup>2</sup>	
施工道具	中毛ローラー・ステンレスゴテ・ウエス 塗継ぎを作らず、薄く塗布する。	

#### 5. トップコート パターン付け

・ローラーにて薄く塗布した後、金ゴテにて塗膜表面をしごき、余分な塗材を除去する。  
 ・ステンレスゴテのしごき跡がある場合は、水を含ませ固く絞ったウエスにて、しごき跡を擦る要領で消す。  
 (図 - 2)



<適用下地>

- ・石膏ボード等

下地によりシーラーを選定し、使用してください。

例) 合板の場合：アク止めシーラーJS - 90

<主な施工道具>

- ・ステンレスゴテ
- ・中毛ローラー
- ・ウエス

< 施工のポイント >

- ・ ステンレスゴテのエッジを立てず、コテの裏面全体で塗材の表面を引きずるようにして楕円状に乱流模様をつける。  
( 図 - 1 )

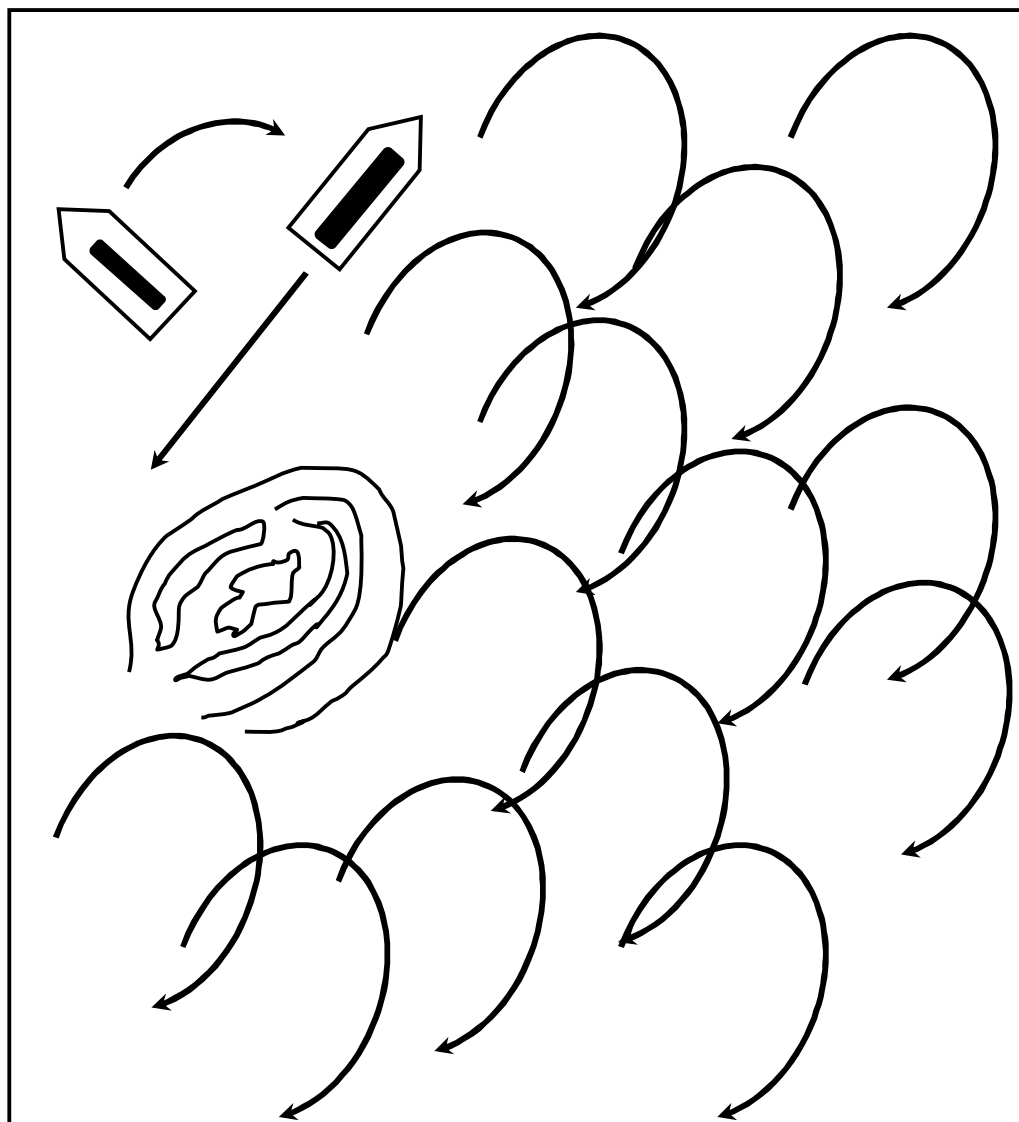
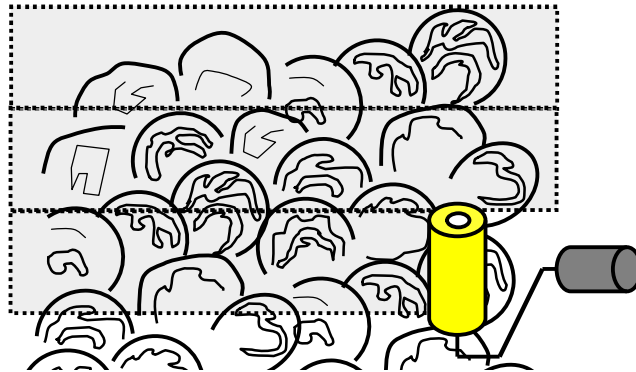
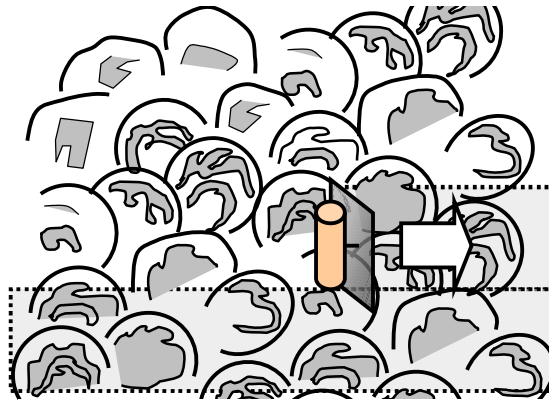


図 - 1

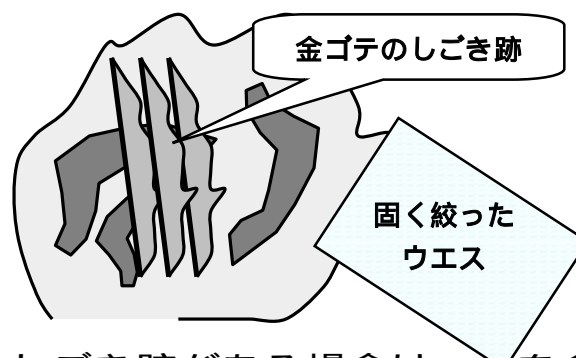
- ・ステンレスゴテを から の順に動かし、パターンを付ける。  
の方向にコテを抜くと、コテ切れが良い。



- ・トップコート进行中毛ローラーにて薄く塗布する。  
塗継ぎをした場合、ムラが発生しやすくなるため注意して下さい



- ・トップコートと塗布直後にステンレスゴテにて塗膜表面を縦、横にしごき、余分な塗材を除去する。  
(窪みにトップコートが残る様にする。)



- ・ステンレスゴテのしごき跡がある場合は、水を含ませ固く絞ったウエスにて、しごき跡を軽く擦る要領で消す。
- ・この時、擦り具合によってムラとなることがある為、全体的なバランスを確認しながら作業を行なう。
- ・ウエスは水にてマメに洗浄する。

## 入隅、出隅の処理方法

- ・ 入隅は塗布量が多くなるようにする。
- ・ パターン付けの際、入隅や出隅、幅木のちりは、一度水に浸した後、水を良く切った刷毛で、塗材が乾燥する前に押さえる。(図 - 3)

入隅において、塗布量が多くなったり、水を付けすぎた刷毛で押えた場合、クラックが発生しやすくなるので、注意してください。

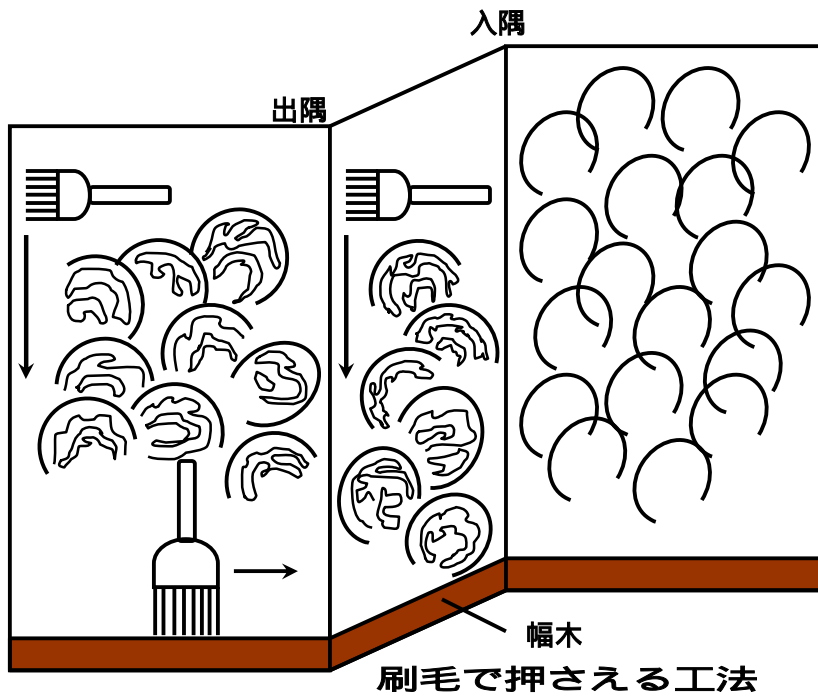


図 3

### < 施工の注意事項 >

- ・ 施工前に必ずコンパネ等で試し塗りをを行い、仕上がり、乾燥性を確認して下さい。
- ・ 乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。  
(特に大面積を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。)
- ・ 塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進める。
- ・ 天候、風等の条件によっては、極端なパターンの段差部分にヘアクラックが発生する場合があります。あまり、極端なパターンの段差をつけないよう注意して下さい。(図 - 4)

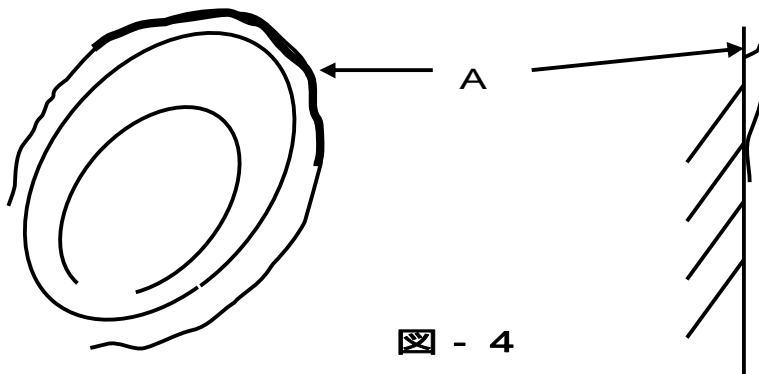


図 - 4

### < 不燃仕様の対象パターンについて >

不燃仕様の対象パターンには、マイルドプaster、マイルドプasterランダム、シンフォニー、ウォーターフォール、細流、ニュアージュ、乱流、乱流2色、ゆず肌があります。

オンブルバーグは、不燃仕様の対象パターンではありません。

以 上